

調査結果報告セミナー

「活躍する 50 歳代のエンジニアのキャリアと今後の役割」開催

平成 30 年 3 月 1 日(木)、JISA 会議室にて、調査結果報告セミナー「活躍する 50 歳代のエンジニアのキャリアと今後の役割」を開催した。主催は JISA 高齢者雇用推進部会で、参加者は 80 名。

本セミナーは、JISA が受託している「情報サービス業高齢者雇用推進事業※（平成 29・30 年度の 2 年実施、委託元：(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構）」における初年度活動の中間結果報告という位置づけで開催した。



※ 本事業は、エンジニアとして活躍しているシニア IT 人材の行動特性（コンピテンシー）を年代別に明らかにし、IT 人材が長期に活躍するために企業の果たすべき役割と

課題について検討し、各種実態調査から得られた知見をもとに『情報サービス業 高齢者雇用推進ガイドライン（仮称）』の制作・普及を目的としている。JISA では本事業の推進組織として高齢者雇用推進部会を設置し、活動している。

■ 調査結果報告・講演

セミナー前半は、調査結果報告及び講演を行った。調査結果報告は「データから見る、活躍する 50 歳代エンジニアのキャリアと実態」と題し、29 年度に実施した企業アンケート及び個人（IT 人材）アンケートの調査結果と、結果分析から示された「活躍するシニア IT 人材の特徴」について、みずほ情報総研(株) 社会政策コンサルティング部雇用政策チームが報告した。続いて、「少子高齢化時代を生き抜く IT 産業 ～企業とエンジニアの心の関係～」と題し、下田健人氏（麗澤大学経済学部 教授・JISA 高齢者雇用推進部会 副部会長）が講演した。講演の中で、現役の IT 人材が今後 5 年（または定年以降）の自身の働き方についてどのような考えを持っているか、また、現役シニア IT 人材が、定年後働くことにどのような目的や希望（環境、職種等）を持っているか、について、調査結果データから読み取れる傾向・動向を解説した。また、それらに対して、企業側の実態（現状）と今後必要な対応や取組について示唆した。



■ ディスカッション



セミナー後半は、佐藤博樹氏（中央大学大学院戦略経営研究科 教授・JISA 高齢者雇用推進部会 部会長）のテーマ提起・ファシリテートのもと、講師、シンクタンク、部会委員及びセミナー参加者でディスカッションを行った。ディスカッションの冒頭、定年後の再雇用労働者における同一労働・同一賃金が話題に上がり、「定年後も引き続き活躍したい個人」と「定年後は一律で報酬が下がる会社の現行制度」の現状について、各社の事情や悩み等を意見交換した。続いて、今回の調査結果データから、今 30 代の人材が長期的に活躍するうえで、モチベーション維持に向けた学びや自己啓発の必要性を説き、個人が自ら進んで自己啓発を行うための制度及びしくみについて各社が事例を共有した。また、個人の今後のキャリアを見据えて企業側が仕事のアサインを調整・工夫する必要性についても議論された。（上遠野）